# 学校成績評価管理／成績まとめプログラム説明

## はじめに

このソフトを実行するためには、MS_Excel2010 以降のソフトが必要です(開発は MS_Excel2010 環境で実施)

このソフトは 2 つのプログラム(Excel)から構成され、 一つは学校教科担任/クラス担任（複数教科担当）が試験等の成績から 10 段階/5 段階評価を指定の分布(初期値は正規分布)で評定を算出・管理するプログラム、もう一つは学校クラス担任が前記プログラムで入力・管理の複数の教科データベースを一つにまとめ、成績表作成支援するプログラムです

Excel マクロで殆ど自動化しており、初期設定と試験等の点数を入力し、各ボタンを押下することで簡単に評定結果を表示します

《機能》

1. 学校成績評価管理プログラム機能
   ① 生徒の試験結果データをクラス毎(教科担当)または教科毎(複数教科担当のクラス担任：特に小学校クラス担任用)に管理可能
   ② クラス毎/教科毎または全生徒の試験等や成績成果などを評価割合で点数化しデータ管理
   ③ クラス/教科別の合計・平均を集計し表示、レーダーチャート表示
   ④ 生徒の試験項目毎のコメントを入力(後日成績表作成時のコメント記入に活用)
   ⑤ あらかじめ設定した評定値分布に基づいて 10 段階/5 段階評定値を付与
   ⑥ 各生徒の自動評定値付与した評定値を手動で修正可能
   ⑦ 評定値順(10 段階順)/成績順/クラス別・生徒順でソートし表示
   ⑧ クラス/教科毎の生徒の入力データ（試験点数/コメント）、生徒の年間評価結果（各学期）内容を印刷
   ⑨ 年度途中で生徒が転校等(増減)した場合、数回のボタン操作でデータベースに反映
   ⑩ 転校等で減員した生徒は評価対象から除外、増員の場合、生徒追加と入力データを反映
2. 学校成績まとめプログラム機能
   ① 任意フォルダに登録した複数の「学校成績評価管理プログラム」(ファイル名を教科名に変更)から学期のシート(学期データ/コメント)を一括取込み
   ② 取込まれた教科シート(学期データ/コメント)から指定生徒の教科データ(成績/コメント)を表示
   ③ 前項で表示の生徒成績データ・コメント内容を印刷

《仕様》

① 処理できる学期は 3 種類(一学期/二学期/三学期)
② クラス数/教科数は最大 10 個(クラス名はソート時の表示に影響するため名前に配慮)
③ クラス数/教科数の生徒数の合計が最大 500 件（∑クラス数/教科数×生徒数）
④ 定期/不定期試験等の項目数は最大 10 個
⑤ .10 段階/5 段階評価の分布(初期値は正規分布)
⑥ コメントは生徒毎に最大１０個（試験項目数）

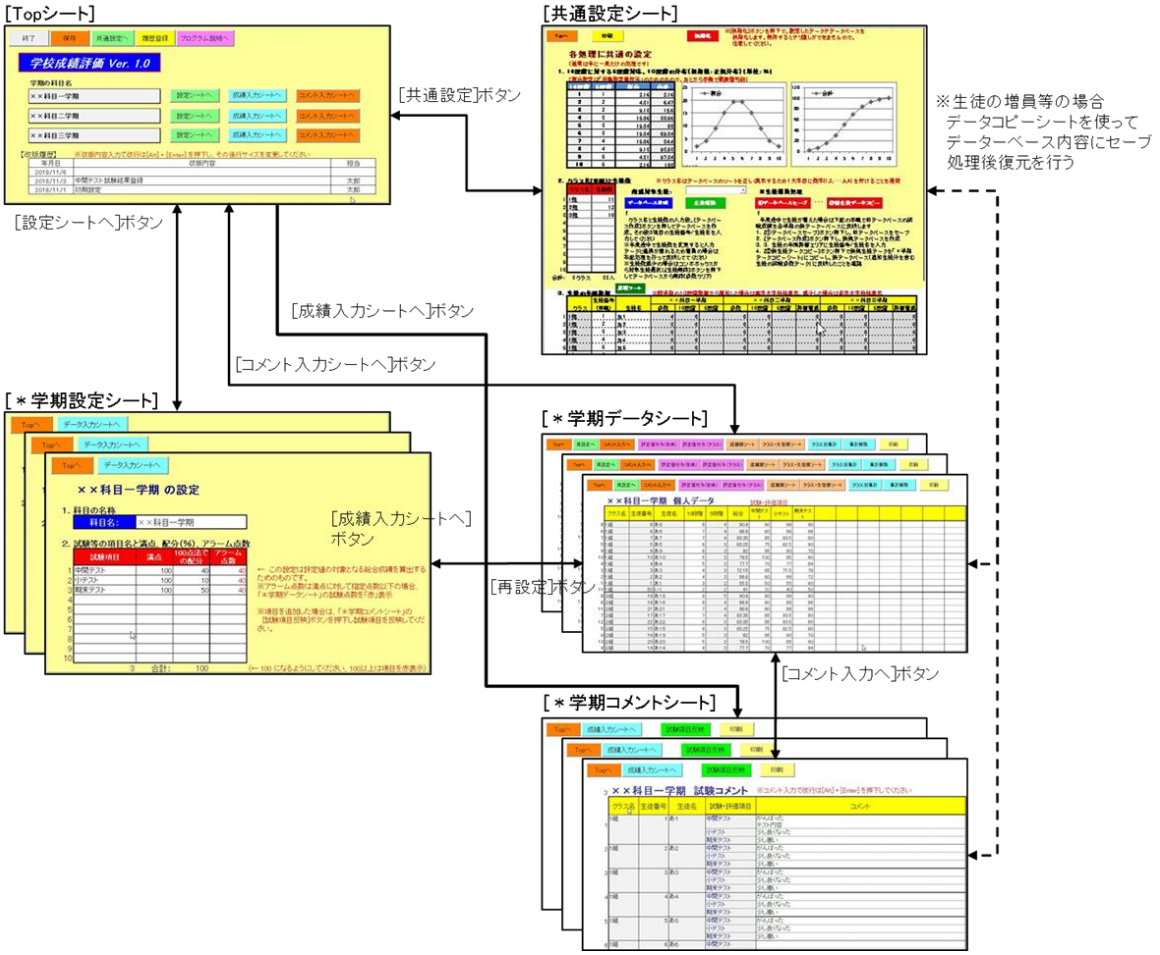
《プログラム起動と終了》

1. 教科担当が成績を登録する場合、「学校成績評価管理 Vx.x.xlsm(マクロ有効ブック Excel)」ファイルをダブルクリックで起動し「Top シート」から操作

2. クラス担当が複数教科をまとめて表示する場合、「学校成績まとめ Vx.x.xlsm」(マクロ有効ブック Excel)」ファイルをダブルクリックで起動し「Top シート」から操作
3. プログラウの終了は各プログラムに「Top ページ」の[保存]ボタン押下後[終了]ボタン押下

## 学校成績評価管理プログラム説明

1. 画面遷移




2. 画面説明

1） Top シート

① [終了]ボタン:プログラムの終了

② [保存]ボタン:入力/修正した内容を Excel ファイル(学校成績評価 Vx.x.xlsm)に上書き

③ [共通設定へ]ボタン:「共通設定シート」を表示

④ [履歴登録]ボタン：改版履歴エリアに1行分追加、年月日（自動設定）と改版内容、担当項目を入力

⑤ [プログラム説明]ボタン：「プログラム説明シート」(本シート)を表示

⑥ 学期の科目名の[設定シートへ]ボタン：科目名の「＊学期設定シート」を表示

⑦ 学期の科目名の[成績入力シートへ]ボタン：科目名の「＊学期データシート」を表示

⑧ 学期の科目名の[コメント入力シートへ]ボタン：科目名の「＊学期コメントシート」を表示

⑨ 【改版履歴】エリア：年月日(自動設定)/改版内容/担当を入力管理

2） 共通設定シート

① [Top へ]ボタン：「Top シート」に戻る

② [印刷]ボタン：シートの内容をプリント出力

③ [初期化]ボタン：入力/生成された内容をすべてクリア

④ [データベース作成]ボタン：クラス名/教科名と生徒数に基づきデータベース(＊学期データ)を作成

⑤ [生徒削除]ボタン：生徒数が減少した場合、コンボボックスで指定の生徒をデータベースから試験点数をクリア

⑥ [①データベースセーブ]ボタン：転入で生徒数が増加した場合、旧データベースを一旦「＊学期データコピーシート」にセーブ

⑦ [新生徒データに反映]ボタン：転入生徒の内容を「＊学期データコピーシート」にコピー

⑧ [昇順ソート]ボタン：3. 生徒の年間評価エリアのクラス・生徒番号を昇順でソート(入力データ処理で正しく表示するための確認)

⑨ 【10 段階に対する 5 段階対応、10 段階の分布〈初期値：正規分布〉（単位：%）】エリア：5 段階と 10 段階分布を入力

⑩ 【クラス/教科(昇順)と生徒数】セルのクラス/教科を選択(クラス：教科担任、教科：クラス担任で複数教科を担当する場合)、各シートの表示をクラス名/教科名に変更

⑪ 【クラス/教科(昇順)と生徒数】エリア：クラス名/教科名(昇順)と生徒数を入力

⑫ 【生徒の年間評価】エリア：生徒番号と生徒名を入力

⑬ 【削減対象生徒】エリア：削除対象の生徒をコンボボックスから選択

3） ＊学期設定シート

① ［Top へ］ボタン：「Top シート」に戻る

② ［成績入力シートへ］ボタン：「＊学期データシート」を表示

③ 【科目の名称】：科目名等を入力

④ 【試験等の項目名と満点、配分（%）、アラーム点数】エリア：試験項目、満点、100点法での配分、アラーム点数を入力

4） ＊学期データシート

① ［Top へ］ボタン：「Top シート」に戻る

② ［再設定］ボタン：「＊学期設定シート」を表示

③ ［コメント入力シートへ］ボタン：「＊学期コメントシート」を表示

④ ［評定値付与(全体)］ボタン：全体の総合(点数*分配)点数と10段階評価の分布に基づき10段階/5段階評定結果

⑤ ［評定値付与(クラス/教科)］ボタン：クラス毎/教科毎の総合(Σ点数*分配)点数と10段階評価の分布に基づき10段階/5段階評定結果

⑥ ［成績順ソート］ボタン：総合（点数）順にソート表示

⑦ ［クラス/教科・生徒順ソート］ボタン：クラス名/教科名順、生徒番号順にソート表示

⑧ ［クラス/教科別集計］ボタン：クラス毎/教科毎の平均値を表示

⑨ ［集計解除］ボタン：クラス/教科別集計の表示を解除

⑩ ［印刷］ボタン：シートの内容をプリント出力

⑪ [レーダーチャート作成]ボタン：クラス/教科別集計結果に基づきクラス毎/教科毎のレーダーチャートグラフを表示

⑫ 【10段階(手動修正)】エリア：自動で評定値付与処理後、手動で修正入力

⑬ 【試験・評価項目】エリア：試験等の点数を入力

5） ＊学期コメントシート

① [Top へ]ボタン：「Top シート」に戻る

② [成績入力シートへ]ボタン：「＊学期データシート」を表示

③ [試験項目反映]ボタン：「＊学期コメントシート」の試験項目エリアに「＊学期設定シート」の試験項目を表示（生徒毎に試験項目表示）

④ [クラス/教科絞込]ボタン：画面表示の試験・評価項目を[選択]/[生徒番号]セルで指定のクラス/教科、生徒番号で絞込

※表示内容を絞り込む場合は「試験・評価項目」で選択した後、「選択」/[生徒番号]で指定し[絞込]ボタン押下、全内容表示には「試験・評価項目」で[すべて選択]、または他のシートから本シート再表示

⑤ [印刷]ボタン：シートの内容をプリント出力

⑥ 【コメント】エリア：生徒毎の試験項目に対するコメントを入力

⑦ 【選択】セル：試験・評価項目のクラス/教科の選択表示（プルダウン表示）

⑧ 【生徒番号】セル：試験・評価項目の生徒番号の選択表示（プルダウン表示）

⑨ 【試験・評価項目】のフィルタボタン押下し、フィルタ画面で試験項目を選択で対象の試験項目を表示

3. 準備作業説明

1） 年度初めに「Top シート」の[共通設定]ボタンを押して「共通設定シート」表示し下記操作を行う

① 「共通設定シート」の 1 項目(10 段階/5 段階の分布)を必要に応じて修正(初期値は正規分布)

② 「共通設定シート」の 2 項目(クラス/教科名、人数)のクラス名/教科名と生徒数を入力

③ 「共通設定シート」の[データベース作成]ボタンを押下

「共通設定シート」の 3.生徒データエリア生成、「＊学期データシート」に生徒/採点エリアを生成、「＊学期コメントシート」に生徒エリアを生成

④ 「共通設定シート」の 3 項目(生徒の年間評価)の生徒番号・生徒名を入力

⑤ 「共通設定シート」の[Top へ]ボタンを押下し「Top シート」へ戻る

⑥ 「Top シート」の[設定シートへ]ボタンを押下し対象(一学期/二学期/三学期)の「＊学期設定シート」を表示

⑦　対象の「＊学期設定シート」の 1.項目(科目名)に表示したい科目名を入力

⑧　対象の「＊学期設定シート」の 2.項目(試験名/満点/配分/アラーム点数)を入力

⑨　「＊学期設定シート」の「Top へ」ボタンを押下し「Top シート」へ戻る

⑩　「Top シート」の{履歴登録}ボタンを押下し改版履歴エリアに必要内容を入力

⑪　[保存]ボタン押下し入力した内容を保存、その後[終了]ボタン押下で Excel を終了

4. 定例作業説明

1)　試験実施処理(試験結果入力)

①　「Top シート」の対象の{成績入力シートへ}ボタンを押下し、対象の「＊学期データシート」表示

②　「＊学期データシート」の各生徒の試験・評価項目の点数を入力

③　「Top シート」の対象の{コメント入力シートへ}ボタンを押下し、対象の「＊学期コメントシート」表示

④　最初に生徒毎の試験項目を設定する場合。[試験項目反映]ボタンを押下し試験項目を表示
また、「＊学期設定シート」で試験項目が追加された場合も[試験項目反映]ボタンを押下し試験項目を表示

⑤　験結果を元に対象の生徒の試験項目に対するコメント入力

⑥　「Top シート」の{履歴登録}ボタンを押下し改版履歴エリアに必要内容を入力

⑦　[保存]ボタン押下し入力した内容を保存、その後[終了]ボタン押下で Excel を終了

2)　期末処理(全ての試験結果入力後)

①　必要に応じて下記操作を実施してデータベースを変更・表示

②　「Top シート」の{履歴登録}ボタンを押下し改版履歴エリアに必要内容を入力

③　[保存]ボタン押下し入力した内容を保存、その後[終了]ボタン押下で Excel を終了

3)　試験・評価項目の追加：準備段階で設定した項目の追加を行う場合

①　新たに試験・評価項目を追加する場合[再設定]ボタンを押下し対象の「＊学期設定シート」を表示

②　対象の「＊学期設定シート」の 2 項目(試験/満点/配分/アラーム点数)を追加入力

※　準備作業で設定の 2 項目(試験/満点/配分/アラーム点数)の最終項目の後に追加してください

4)　10 段階/5 段階の評定値の自動設定(全体、クラス毎/教科毎)
[評定値付与(全体)]：クラス毎表示で全生徒に対する評定用、[評定値付与(クラス/教科)]：クラス毎、または教科毎の評定用

①　[評定値付与]ボタンを押下で総合の点数による 10 段階/5 段階の評定値を設定し 10 段階でソートして表紙

②　その後必要に応じて 10 段階を修正することで右側の【手動微調整後の結果】エリアに修正の分布を表示

5)　成績順ソート

①　[成績順ソート]ボタン押下でクラス/教科毎で総合の点数(成績)順に表示

6)　クラス・生徒順ソート

①　[クラス・生徒順ソート]ボタン押下でクラス/教科毎で生徒番号順に表示

7)　クラス/教科別集計表示と解除

①　[クラス/教科別集計]ボタン押下でクラス/教科別の平均値を追加表示

②　[集計解除]ボタン押下でクラス/教科毎の集計表示を解除

8)　レーダーチャートの表示

①　[クラス/教科別集計]ボタン押下しクラス/教科別の総合の平均値を表示後、[レーダーチャート]ボタン押下でクラス/教科毎の総合の平均値のレーダーチャートグラフを表示

9)　表示シートの印刷

①　現座表示のシートを印刷する場合[印刷]ボタンを押下(A4 横サイズ印刷)

10)　「＊学期コメントシート」のコメント内容のクラス/教科と試験・評価項目による絞り込み

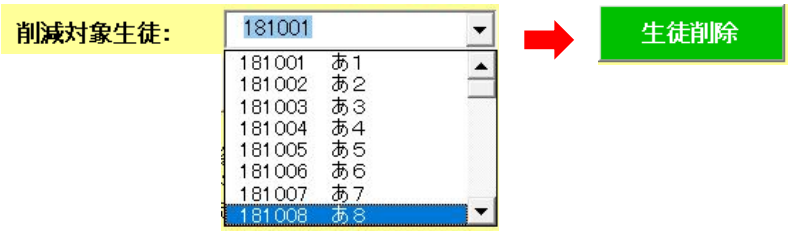
①　「試験・評価項目」セルのフィルタボタン押下し試験項目を選択、その後「選択」セルのクラス/教科プルダウンメニューから選択し[クラス/教科絞込]ボタン押下で対象のコメントを絞り込み表示

②　全内容再表示には「試験・評価項目」で[すべて選択]、または他のシートから本シート再表示で表示

5. 特殊作業説明

1)　生徒の減員

①　.「共通設定シート」で削減対象の生徒を[削減対象生徒]コンボボックスで指定し、[生徒削減]ボタンを押下すると「＊学期データシート」の試験点数をクリア、生徒番号/生徒名を取消表示

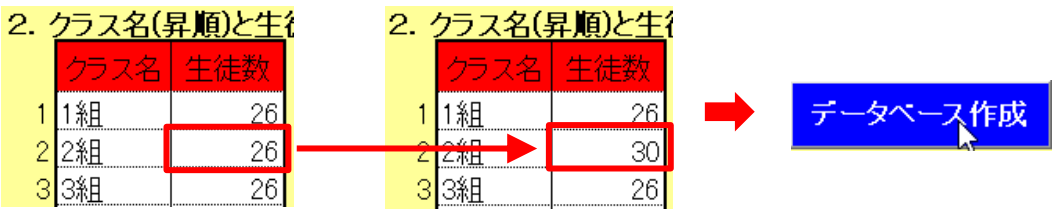



2)　生徒の増員

年度途中で生徒が増えた場合は、下記の手順で旧データベースの試験成績/コメントをセーヌして各学期の新データベースに反映

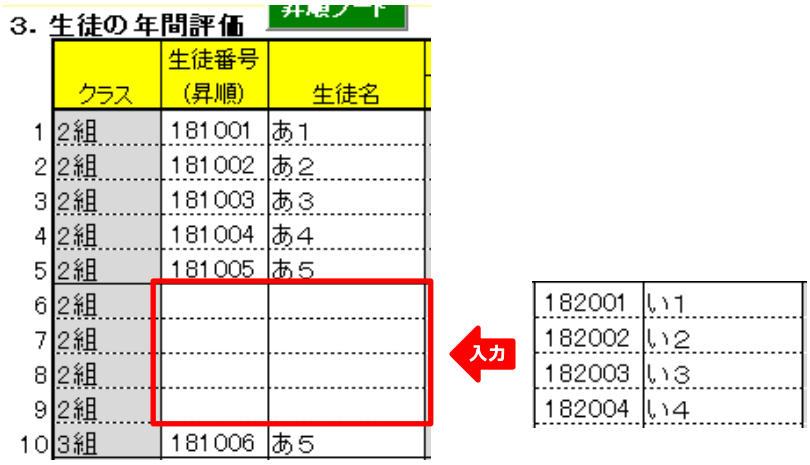
①　「共通設定シート」の.[①データベースセーブ]ボタン押下し、旧データベース(成績/コメント)を「＊学期データコピー」にセーブ

②　.「共通設定シート」の【2.クラス名(昇順)と生徒数】エリアの生徒数を変更し[データベース作成]ボタン押下し




③　新規データベース(「＊学期データ」/「＊学期コメント」)を作成

④　「共通設定シート」の【3.生徒の年間評価】エリアの転入の生徒番号/生徒名を入力




⑤ 「共通設定シート」の.[②新生徒データに反映]ボタン押下し、新生徒データ(増員)のデータベース(成績/コメント)に「＊学期データコピー」にセーブした内容を反映

6. 活用事例

1) 前期・後期の年間管理の例

1つの処理内で前期・後期と通年を扱う場合、「一学期設定シート」(最初の設定シート)の2. 試験等の項目名と満点、配分、アラーム点数エリアに前期段階で以下のように設定

(例) 項目 満点/配分割合/アラーム点数

前期中間 100 点/40%/30 点

前期平常 100 点/20%/40 点

前期期末 100 点/40%/30 点

前期終了時点で以下のように設定変更(入力シート「一学期データシート」は既に入力の試験点数の変更は不要)

(例) 項目 満点/配分割合/アラーム点数

前期中間 100 点/20%/30 点←配分割合の変更

前期平常 100 点/10%/40 点←配分割合の変更

前期期末 100 点/20%/30 点←配分割合の変更

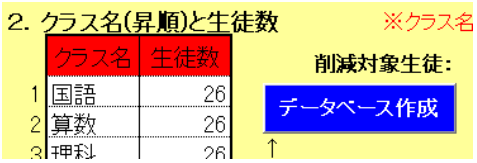
後期中間 100 点/20%/30 点←項目等の追加

後期平常 100 点/10%/40 点←項目等の追加

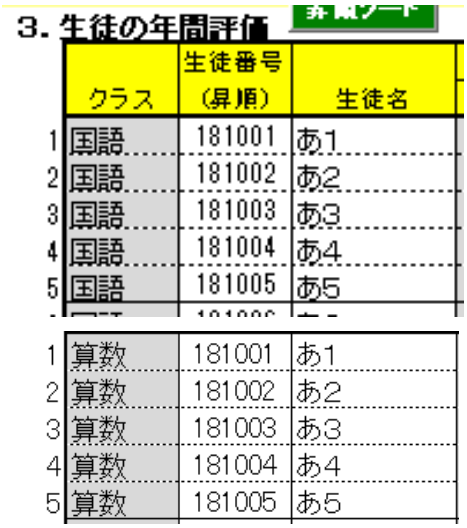
後期期末 100 点/20%/30 点←項目等の追加

2) クラス担任が複数教科を一括管理の例

① 「共通設定シート」の 2. クラス名と生徒数エリアのクラス名に教科名、生徒数に生徒数を入力し[データベース作成]ボタンを押下



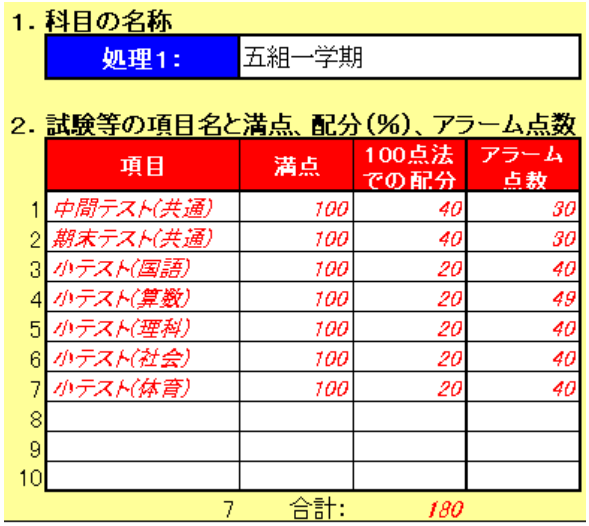

② 「共通設定シート」の3. 生徒の年間評価エリアの生徒番号と生徒名に生徒データを入力



3. 生徒の年間評価

| | クラス | 生徒番号（昇順） | 生徒名 |
|---|---|---|---|
| 1 | 国語 | 181001 | あ1 |
| 2 | 国語 | 181002 | あ2 |
| 3 | 国語 | 181003 | あ3 |
| 4 | 国語 | 181004 | あ4 |
| 5 | 国語 | 181005 | あ5 |
| 1 | 算数 | 181001 | あ1 |
| 2 | 算数 | 181002 | あ2 |
| 3 | 算数 | 181003 | あ3 |
| 4 | 算数 | 181004 | あ4 |
| 5 | 算数 | 181005 | あ5 |

③ 「＊学期設定シート」の1．科目の名称エリアにクラス名＋学期、2．試験等の項目エリアに共通するテスト（中間テスト/期末テスト）と教科毎のテスト項目（小テスト）を入力、共通テスト＋小テストの配分合計が 100%になるように設定（全配分合計が 100%以上になり赤表示）



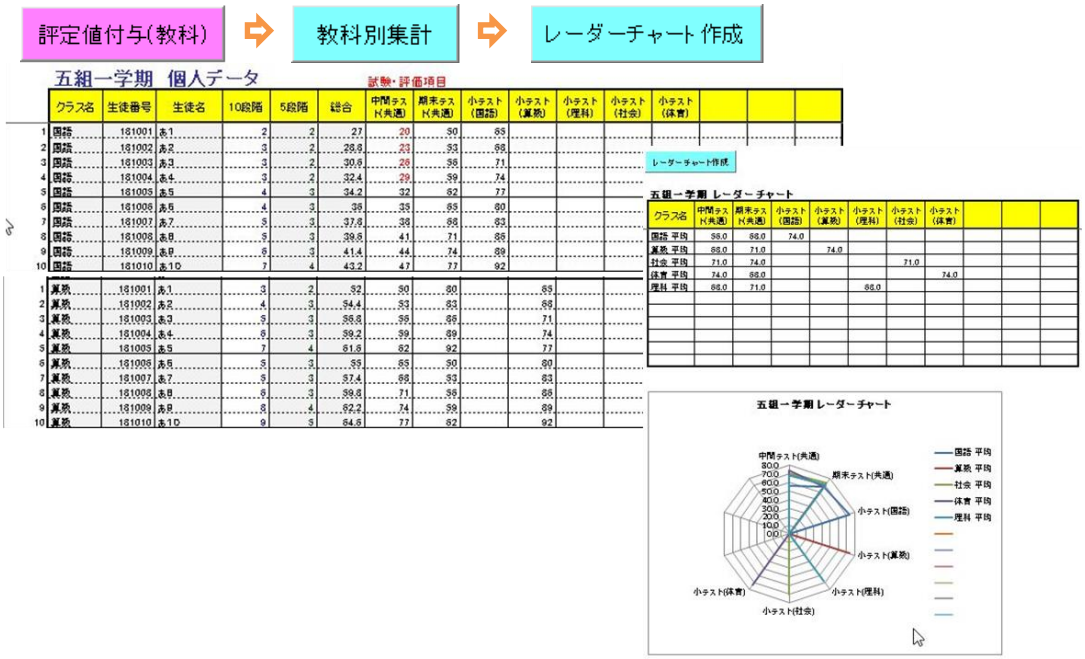
1．科目の名称

| 処理1： | 五組一学期 |
|---|---|

2．試験等の項目名と満点、配分（%）、アラーム点数

| | 項目 | 満点 | 100点法での配分 | アラーム点数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 中間テスト(共通) | 100 | 40 | 30 |
| 2 | 期末テスト(共通) | 100 | 40 | 30 |
| 3 | 小テスト(国語) | 100 | 20 | 40 |
| 4 | 小テスト(算数) | 100 | 20 | 49 |
| 5 | 小テスト(理科) | 100 | 20 | 40 |
| 6 | 小テスト(社会) | 100 | 20 | 40 |
| 7 | 小テスト(体育) | 100 | 20 | 40 |
| 8 | | | | |
| 9 | | | | |
| 10 | | | | |
| | 7 | 合計： | 180 | |

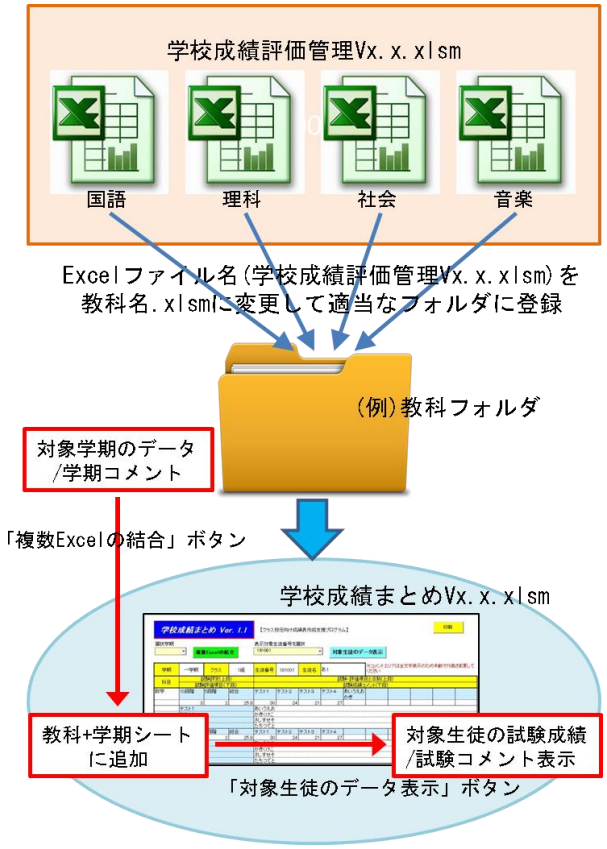
④ 「＊学期データシート」の試験・評価項目エリアに試験結果(点数)を入力、全ての点数入力が完了した後(学期末)下記操作を行い教科毎の評定を実施、またクラス別集計、レーダーチャート表示等を行います



## 学校成績まとめプログラム説明

「学校成績評価管理 Vx.x.xlsm」プログラムで教科担任が複数クラスを担当しデータベースを作成した場合、クラス担任が複数教科をまとめるためのプログラムです。

### 1. 成績まとめ処理イメージ

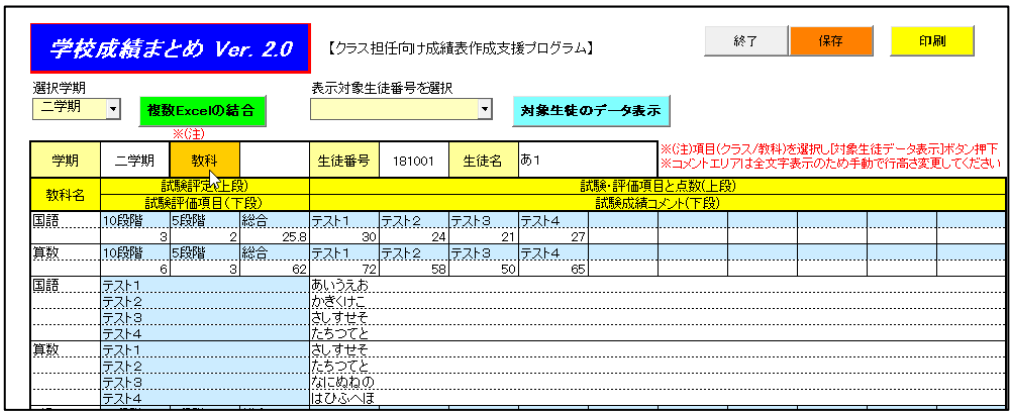



本プログラム実施前の準備とした下記処理を実施してください

「学校成績評価管理 Vx.x.xlsm」プログラムでクラス毎の教科成績データを入力
ファイル名を教科名に変更(教科名+.xlsm)
準備した教科フォルダ(例:教科成績)にまとめ対象のファイルを登録

その後、下記操作を実施して対象の成績データを表示

### 2. 画面説明




① [終了]ボタン:本プログラムの終了

② [保存]ボタン:取込み/表示した内容を Excel ファイル(学校成績まとめ Vx.x.xlsm)に上書

③ [初期化]ボタン:追加したシートの削除、表示の生徒データを削除

④ [印刷]ボタン:シートの内容をプリント出力

⑤ [複数 Excel の取込]ボタン:表示するフォルダ選択画面で指定した教科フォルダに登録された「学校成績評価管理プログラム(教科名ファイル)」から【選択学期】で指定の学期データ・学期コメントを取込み

⑥ [対象生徒のデータ表示]ボタン：取込まれた学期データ/学期コメントシートから【表示対象生徒番号を選択】で指定の生徒の教科試験結果データ・コメントを表示

⑦ 【選択学期】エリア：学期プルダウンデータ（一学期/二学期/三学期）から選択

⑧ 【表示対象生徒番号を選択】エリア：生徒プルダウンデータ（2 番目のシートに登録の生徒情報）から選択

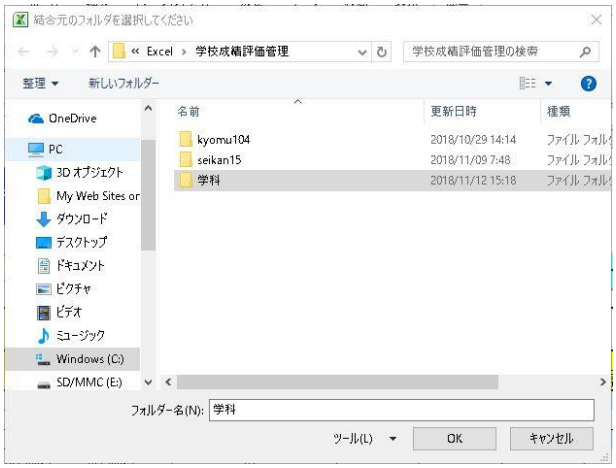
⑨ ※（注）【クラス/教科選択】セル：クラスと教科の選択（クラス：学校成績評価管理プログラムで教科担当が複数のクラスを管理の場合、教科：学校成績評価管理プログラムでクラス担任が複数教科を管理の場合）

3. 操作説明

1) 「学校成績評価管理プログラム（教科名ファイル）」（Excel ファイル）の取込み

① 【選択学期】エリアで取込み対象の学期を選択（一学期/二学期/三学期）

② [複数 Excel の取込]ボタン押下でフォルダ選択画面表示




③ 学校成績評価管理プログラム（教科名ファイル）が登録されたフォルダを選択し[OK]ボタン押下

④ 「対象のファイル名_＊学期データ」、「対象のファイル名_＊学期コメント」シートを追加

2) 対象生徒の試験結果・コメント内容の表示

① 【クラス/教科選択】セルでクラスまたは教科を選択

② 【表示対象生徒番号を選択】エリアの生徒のプルダウンデータからで生徒を選択

③ [対象生徒のデータ表示]ボタン押下で取込んだ学期データと学期コメントシートから対象生徒番号のデータを「Top ページ」に表示

## 注意事項

1. 本プログラムの使用に伴う結果については、作者は一切責任を負えないのでご了承ください。
   また、あらゆるデータを想定した評価は実施できないため、不具合が発生した場合のデータ保証ができないことを了承願います。
2. 本プログラムには生徒の機密情報が含まれており、プログラムでは対応していないため、取扱注意願います。
3. 本プログラムはクラス担任（複数の教科を担当）と教科担任（複数のクラスを担当）の処理機能を理解して利用してください。
   共通設定シート：クラスは教科担任（複数のクラスを担当）、教科はクラス担任（複数の教科を担当）で

学校成績まとめプログラムは、クラス設定で教科担当が入力した複数教科データベースをまとめるのにご利用ください。

改版履歴

■V2.0：学校成績まとめプログラムを開発、学校成績評価管理プログラム不具合の修正

■V1.1：生徒毎の試験項目に対するコメントエリア追加

■V1.0：学校成績評価管理プログラムを MS_Excel ベースで開発